

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市有林造成事業			事業コード	1943
担当課等	所属名	玉山総合事務所 産業振興課	担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 産業振興課	担当者名	坂本勝彦	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 3目 市有林造成事業(補助) (001-01) 一般会計 6款 2項 3目 市有林造成事業(単独)(001-02)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	盛岡市が管理する森林(玉山区分)について、保育・間伐を行い、基本財産の造成及び森林の公益的機能の増進を図る。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市有林資源の質的向上を目指し、基本財産の造成と森林の公益的機能の維持増進を図るため。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
林業関係者から、本制度の継続実施を要望されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
森林法の改正により、森林が三つのゾーンに区切られ、それぞれで伐採方法が違うなど、林業を取り巻く環境が複雑になり、これまでの単純皆伐から長伐期施業や複層林施業が求められ、コスト上昇の要因が生じている。また、輸入木材の影響により、木材価格が低迷しており、森林資源が充実しているにもかかわらず所得確保が難しくなっている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市有林(直営)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市有林の経営計画上の計画整備面積(玉山区)	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 公有林経営計画(森林施業計画)に基づき経営森林の計画的な森林施業を行う。 間伐等の作業を行う。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 公有林経営計画(森林施業計画)に基づき経営森林の計画的な森林施業を行う。 間伐等の作業を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 市有林の森林整備が実施された面積(玉山区)	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	森林整備の実施により、市有林資源の質的向上を目指し、基本財産の造成と森林の公益的機能の維持増進を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市有林の森林整備が実施された面積/市有林の経営面積 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市有林の経営計画上の計画整備面積(玉山区)	ha	953	953	953	953	953	953	24年度 953
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	市有林の森林整備が実施された面積(玉山区)	ha	5.00	5.00	15.95	15.95	13.71	5.00	24年度 13.71
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	市有林の森林整備が実施された面積/市有林の経営面積	%	0.5	0.5	1.6	1.6	1.4	0.5	24年度 0.5
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	7,162	5,989	7,755	7,755	6,990	6,990	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円			3,653	3,653	3,140		*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	7,162	5,989	4,102	4,102	3,850	6,990	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	7,162	5,989	7,755	7,755	6,990	6,990	*****
	延べ業務時間数	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,962	10,789	12,555	12,555	11,790	11,790	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 森林施業を計画的に実施することによって、基本財産の造成及び森林の公益的機能の維持増進が図られる。これによって、民有林経営の模範を示すことになり、民有林経営の生産性を向上させることにつながる。また、公益的機能の維持増進により生活環境の改善に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 市の所有する市有林を整備することで、地域の森林整備の促進が図られる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市有林は市が管理するもので絞ることはできない。また、現状では市有林の拡大は難しい。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 森林整備を図ることで、森林の公益的機能が向上され、現状で妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 利用間伐の時期を迎えている森林について、林分調査を実施し、利用間伐実施計画を作成する。この計画に基づいて計画的な間伐を実施することにより、いくらかでも収入を確保しながら、森林の保育を進めることができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 木材価格の低迷により、民有林の森林施業が遅れている。市有林においても、適切な管理が行われなくなった場合森林整備の遅れが進み、森林が荒廃することになる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 水道部水源涵養林整備事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 水源涵養林は、森林を現状のままで維持することが目的である。市有林も同様の目的を持ちながらも、生産財として整備することも目的としているため連携できるものではない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 広大な面積の市有林を長期間にわたり整備するものであり、成果を下げずに事業費削減をすることはできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の職員体制で事務を行っており削減できない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市有林整備の受益者は、市民全体である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市有林整備の受益者は、市民全体である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  盛岡市公有林経営計画に基づき現況を精査しながら適正に管理する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  市有林には保育作業を必要とする林分も多いが、保育作業に要する経費を現在の予算から捻出することは難しい。収入を見込める利用間伐と併せた事業展開が必要と思われる。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	(2)全体総括(振り返り, 反省点)											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>間伐等の森林保育を実施することにより、適正な森林管理が可能ことから間伐材利用計画などを策定して計画的な森林管理を行う必要がある。しかし、木材価格全体が低迷する中、間伐材価格の状況によっては持ち出しも考えられることから、当面は赤字とならないよう、間伐材価格の変動状況を勘案しながら、適時適切な森林管理を実施するようにしたい。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										